

蟻高
120周年

母校と同窓会のあゆみ

青春の思い出深き 我等が『学び舎』の変遷

明治

- 34年 蟻ヶ崎豆田(現在地)にて用地買収
- 35年 校舎・寄宿舎落成式

昭和

- 26年 西側隣接地1,000坪を買収
- 28年 ユニットキッチン落成(同窓会補助)
- 29年 同窓会、PTAなどが中心となって校舎全面改築のため後援会設立
- 33年 特別教室棟竣工
- 34年 管理棟竣工
- 35年 北西側隣接地1,893㎡を買収
普通教室棟竣工
旧音楽棟竣工
- 36年 旧体育館竣工
校舎改築落成式
- 41年 旧講堂兼第二体育館竣工
- 42年 通用路として北西側隣接地184㎡を買収
- 43年 旧部室棟移転改築
プール竣工(谷浜海水浴は廃止)
- 46年 図書館・視聴覚教室棟竣工
- 50年 共学実施のため中央便所棟改築、男子部室・男子更衣室を新設
- 53年 格技室・旧昇降口棟竣工
- 57年 校庭南側部室棟(4室)竣工
- 59年 第二グラウンド竣工
- 60年 旧合宿所棟竣工
- 63年 部室棟(20室)竣工

平成

- 4年 時計台(音楽棟)竣工、昇降口棟竣工
- 8年 弓道場竣工
- 16年 合宿所棟新築
- 17年 大体育館新築
- 23年 小体育館新築

明治35年、現在地に建てられた初代校舎は明治末期の水害や戦争は乗り越えましたが、老朽化が目立ち始めた昭和29年、同窓会やPTA、地元市町村が中心となって改築後援会を設立し、県や国への働きかけと共に資金調達を始めました。

新校舎建設は昭和32年10月に着工、翌33年の理科棟を皮切りに、34年に管理棟、35年には普通教室棟、音楽棟、36年に体育館と4期に分けて完成しました。総費用1億3000万円のうち、同窓会、PTAなどが中心となって集めた地元負担金2600万円余もこれに充てられました。構想から7年半、着工から5年を掛け、昭和36年11月の落成式には、ピカピカの校舎を写した記念写真も配付され改築事業は一段落しました。

その後も当初計画には入れられなかった講堂、プール、図書館が建設されて高校としての設備が整いました。

旧校舎の一部は校庭東南に移築され1階が文化系、2階が運動系の部室として放課後の憩いの場になりました。

開校以来多くの変遷を経て、多数の卒業生を送り出してきた校舎は、今や蟻高のシンボルとなった時計台を平成4年に加え、今もなお若者たちの夢を育てています。



南側から見た旧校舎



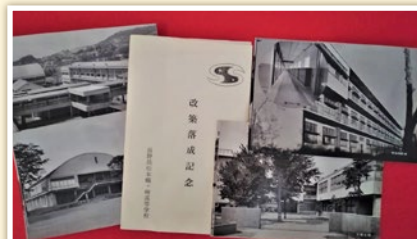
旧校舎



新旧の校舎が並び建つ(昭和36年頃)



建設中の体育館(昭和35年頃)



改築落成記念に配られた写真



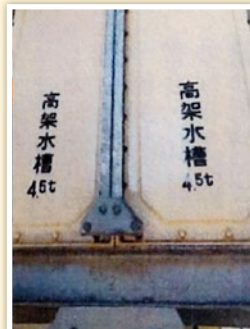
旧部室棟 写真提供 逸見隆明氏(高40)



旧校門 管理棟に渡り廊下があった頃



管理棟の北にそびえる時計台



時計台内部は貯水槽になっています



現在の教室棟と大体育館